



この夏、久しぶりに、郷里の宮崎に帰省しました。

ちょうど台風 10 号が 15 日に西日本を縦断した後で、

まだ強風が吹いている中での飛行機での帰省でしたが、なんとか宮崎に着くことができました。30 年以上ぶりに高校時代の同級生とも会って、互いの無事を喜び、楽しい時間を過ごすことができました。

中高齢のおっちゃんの鉄板の話題といえば、いわゆる「3K」。

「健康」、「介護」、そして・・・「髪の毛」です。(^^ゞ

なかでも、「健康」の話題は多くなります。

僕は、高校生までは痩せていたので、だいたい久しぶりに会った友人からは「太ったな」と言われます。

ちなみに「顔」は、小学生から変わっていないと言われますけど。(;>_<)ゞ



今回の帰省でヒヤヒヤさせられたのが、日本に向かっている台風 10 号の進路と速度でした。

JR 西日本は、上陸の可能性が出てきた 13 日の午前中に、「15 日に**計画運休**の可能性ある」と発表した上で、いよいよ上陸が確実視された 14 日の午前に山陽新幹線の翌日の計画運休の決定を正式発表しました。折悪くお盆の U ターンラッシュが見込まれた時期と重なりましたが、2 日前の可能性の時点で発表し、さらに前日に運行取りやめを告知したこともあって、大きな混乱は起きなかったようです。

この「計画運休」は、近年、混乱の防止や乗客の安全確保のための対策として増える傾向にあります。

どうしても自然災害が多い日本では、これからも「計画運休」はあるでしょうし、通勤ができないことがあらかじめ判断できる機会は増えると思います。

もちろん、休む、休ませるという選択肢もあるのですが、業種や職務の内容によっては「**在宅勤務**」や「**テレワーク**」の導入を部分的にでも平時のうちに検討されてはどうかと思います。



情報セキュリティやコミュニケーションや労働時間の管理の課題はあろうかと思いますが、でも長期に渡る大きな災害だってありうるし、介護や育児の問題を抱える従業員は柔軟な働き方ができることになります。

「テレワーク（在宅勤務）」は、「BCP（事業継続計画）」対策としても有効とされており、総務省・厚生労働省・経済産業省・国土交通省などの省庁が省庁の枠を超えて推進しています。「**テレワーク情報サイト**」というサイトで各省庁のガイドブックを掲載していますので、一度ご覧になってはいかがでしょうか。

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/telework/furusato-telework/guidebook/index.html

今回の宮崎の帰省では今まで行ったことがなかった「**江田神社**」（宮崎市阿波岐原町）に参拝してきました。

「江田神社」は、スピリチュアルの大御所・江原啓之さんが、特に素晴らしいとおススメのパワースポットです。近くにある「**みそぎ池**」は、イザナギノミコトが、亡くなったイザナミノミコトを追って行った黄泉の国の穢れを祓うために、みそぎを行った場所と伝えられています。

今回の帰省も、僕には心の洗濯となった気がします。(^^♪

表紙の写真にした宮崎空港に新しくできた藤城清治さんデザインのステンドグラスには、天岩戸やみそぎ池の場面とともに、天照大御神をはじめとする神々が愛らしく描かれています。

実は、その中に藤城さんが手掛けたカエルの人気キャラクター「**ケロヨン**」も登場しています。

カエルといえば、「無事にカエル」「失せ物カエル」「若カエル」と縁起のいい生き物ですね。

台風に負けずに無事に帰れたのは、空港のケロヨンのおかげだったかもしれません。^^

